昭和四年三月廿九日 第三種郵便物認可

（廿三日夕刊）昭和四年七月廿四日 THE TOHOKU NICHINICHI SHINBUN （水曜日）第百五十七号（一）

東北日日新聞

毎日曜日休刊

本社一ヶ月三十錢 郵税五錢 一部二錢 廣告料一行五錢 場所指定三錢 発行兼編輯人 石井孝 発行所 石城郡平町十番地 福島縣 東北日日新聞社 電話七番

社說

（その二）

斯くて民政黨總裁濱口雄幸君に大命降下となつた濱口内閣が、内外に聲明した表看板に十大政策といふお題目を並べた。

『ここに内閣成立の初めに方り政府が之より實行せんとする當面の政綱を聲明す。

現内閣の施政の方針は立憲民政黨が累次發表したる綱領政策を綜合したるものなり。

唯事を行ふ自ら緩急あり今ここに最も緊急を要すと認むる諸點を明にし之が實現を期す』と稱して、政治の公明。對支外交。軍縮問題。國民精神作興。綱紀肅正。財政緊縮。國債整理。金解禁。社會政策。の所謂十大政策である。

ドン／＼ブウ／＼の鳴物入りの聲明書である。

この聲明書に現はれた民政黨のお題目が、田中内閣と何等特異性を有するものを認める譯には行かぬのである。

整理緊縮、國債整理なるものが資本家を代表する番頭の立場からは稍具体的な内容が含まれてゐるが、政治の公明と云ひ國民精神の作興と云ひ、綱記肅正と言ふに到りてはその無能無智を曝露したものである。

何故かなれば、その根本的に徹底し確立するのには資本主義制度の大改造即ち社會民主主義の勝利に依らずんば斷じてなし得ないからである。

政黨が、その背景たる資本家と地主と偏見と權利奪を唯一本願とする黨員のみで、政治の公明や、綱紀肅正や、國民精神作興が出來ると云ふのであるならば、それは全く狂人の沙汰であり、政治を茶番化するものであるであらう。

カフエーを根城に 盛んに出ボッの不良學生

平署愈々大鐵槌を下す

酌婦的女給は營業停止

不良學生の頻出に手を焼いてゐる平警察署では從來の緩慢な取締りを行ふのみでは到底矯正が出來ないとして近く密行巡査をカフエーに派して嚴重に監視を行はしむることになつたが而も不良

生徒等 の大部分はこう軟派とも各所のカフエーを根城としてゐるので取敢ずその出入する學生等を片ッぱしから精密に取調べ一々學務當局と學校當事者とに聯絡を保つて不祥事件を未然に防止しやうといふのであるそしてそれが爲めにはカフエーの設備についてはいはゆる赤い灯青い灯等の青春の血を殊更挑發するが如き方法を講ずるものは

女給等 に酌婦の如き行爲をなさしむるものと思ひ嚴重に取調べてそれ等には斷然營業停止を命ずる等應急の處置をとることに方針を確定した

△支柱夫の盜み

群馬縣瀬多郡花輪村中野生澤居住磐城炭礦支柱夫岩島德島德太郎（四三）は二十二日午後二時頃同村鈴木要方養鶏場から鶏六羽十八圓を窃取した事發覺二十三日平署員に逮捕された

泉村から發見された 穴居時代の洞穴？

中から赤錆の刀或は石刀現はる

同村で目下研究中

石城郡泉村大字小山地内のが字所有地の一部が過般突如として崩壊したところから崩壊した跡より約四坪三坪二坪位のどう穴が三つ現れしかもその中に赤錆た刀或は石劒類似の古武器が澤山あるのをこの程に至り村民が發見したので目下古墳かそれとも穴居時代のものかを研究中である尚古老の言による同部落に數個の大穴がある其の穴の中には大蛇がせい息してゐたとなどと云ふ傳說が傳はつて居たと云ふ事である

國學院で 辯論大會

廿八日平商校で

國學いん大學辯論部では國民精神作興神道精神發揚の爲め東北六縣巡回講演講演中であるが來る二十八日午後七時から平町元町に於て大講演會を開催する由で講師は同大學教授辯部長松永村皇典講究所理事並學生數名である尚同會では多數の來聽者を希望してゐる

雨は今少し はしかつた位だ

だが此の分なら大豊作

○……一般農家の喜び

カン天續きのために暫らく渇水に惱んでゐた石城地方の水田は二十日來よりの降雨で漸く蘇みがへる事となつたが土用中の天候がこの分ですゝみ結實期さへ順調であると全く今年は大豊作であると一般農家は喜んで居る右について郡農會では

カン天續きで苗の發育は非常に憂慮されてゐたが土用入りと同時に坪當り二斗からの降雨を見たので俄かに苗は延び／＼した今後の發育は左程心配あるまい云々と語つてゐた

坂本、綠川兩町議の 當選無効愈々訴願

安藤、山野邊、猪狩、鈴木の諸氏

二十日付で縣參に

平町辯護士山野邊義正、安藤瓏磨兩氏並に鈴木庫左右緒狩千勝兩氏は二十二日附けにて平町役場を經由平町の町會議員綠川喜三郎、坂本隆藏兩氏の當選無効の訴願を縣

參事會 に提出したので役場では之れを受理し直ちに參事會に廻送した訴願の理由は町議戰終了後平町金古正通、鈴木庫左右の兩名が異議の申立をなしたが去る三日の町會に於て金古は異議申立を取下げ鈴木の申立は無効として

否決 され一先づ異議申立は終了したのであつた而し異議申立の内容は平町に現住せざる者が投票したと云ふにあり前記諸氏は種々調査した結果生活の本據を平町に置かず投票當日に特に來平して投票行使をなした事實があり

町會の 否決は不當であるとして縣參事會に訴願したものであるが訴願が如何に決定されるかが頗る注目されてゐる

△四倉理髮講習

四倉署管内に於ける理髮講習會は二十三日午前十時より同署で開催したが講師は同町門馬い師

取調續行中の 少年怪盜一部自白

養育院を脱出して

石城郡内を荒し廻る

去る十七日午前十時頃平驛窃取其の足で上野驛に至り前を擧動不審の少年が徘徊してゐるので平署員が本署に連行取調べた處山形縣生れ鈴木定吉（一七假名）との時頃石城郡飯野村荒川文彌方より現金衣類數點を窃取したのでそのまゝ留置取調べを續行中であつたが二十二日に至り遂ひに東京養育院を脱出して逃げ出したらしいので取調中だが本籍地は依然として自白せず日夜脱出その足で山手線大井驛前某書店より雜誌十冊を窃取其の足で上野驛に至り無切符で常磐線平驛行の最終列車に乘込んで石城地方に入込み去る二十日午後七時頃石城郡飯野村荒川文彌方より現金衣類數點を窃取したのでそのまゝ留置取調べを續行中であつたが二十二日に至り遂ひに東京養育院を脱出して逃げ出したらしいので取調中だが本籍地は依然として自白せず日夜脱出その足で山手線大井驛前某書店より雜誌十冊を窃取した事は平署員も一驚してゐる

營業開始

本二十四日より株式會社七十七銀行小名濱出張所左記場所に於て營業開始

小名濱町上町一六

株式會社 七十七銀行 小名濱出張所

電話五四番

急告

本郡出身代議士本村清治氏萬國議會商事會議に列席の爲め來る八月一日神戸出帆にて渡歐の途につく事に決定其の行をさかんならしめる爲めに左の如く歡送會を催すべく候間奮つて御臨席被下度

此段御通知に替へ申候也

一、期日 七月二十六日正午後二時

一、場所 平町谷口樓

一、會費 金參圓也

昭和四年七月二十三日

發起人

諸橋久太郎　山崎與三郎　安島重三郎　高岡唯一郎

ポスト

▲やしや功醜神様スレガイ社の創立は花柳法第何條第何項に基順されたにせよ表現化は此の有閑狂人に取りて我放湯界の一大の進歩あり亦た向上發展の第一歩と感謝す狂人夢を以て出雲大社に祈る大社内命を下せり各員謹んで受けよ神は最も公平に説明を賜ふ

やしや功醜神様スレガイ社　社長　春子　註に曰く

不馴の網渡と
キヽ陥入つたら最後だ

専務　政榮

朝顔日記の大井川の段
キヽ洪水で皮雷になる

取締役　千代駒

稲荷壽しの穀
キヽ谷口の古猩（狐）

同　友江

改札口の驛員
キヽ鋏を入れて喜ぶ

同　榮太郎

石材屋の小僧
キヽ大谷石を見て泣く

同　松太郎

好くものは隠居
キヽ老年の冷水

支配人　當八

松井源水のコマ
キヽアブナイ藝當する

監査役　花香

可憐なる山吹
キヽ花は咲げど實はならず

會計課長　色子

勘當された息子
キヽ色子に迷ふた末

検徴課長　園江

悲惨な朝顔の眼
キヽ前の駒澤（検徴）が見いぬ

宣傳部長　市太郎

賣藥の誇大な廣告
キヽ宣傳程では無い

調停部長　助六

ブルヂヤの僚下
キヽ公平な調停は出來ぬ

調停委員　まり子

四角なコンミッション
キヽまりく納まらぬ

調停委員　金彌

練馬特産の大根
キヽ其の割に味がない

以上

▲白揚荘主人君に與ふ
君は常にうば櫻を崇拜して居つたではないか急劇に變節するには大原因があるだらう…婆藝者對若手…有藝對無藝…草履對○等々でありますよ君はアイスタユンの相對論でも研究若手對婆に等を○○し（見給い（振られた男）

謝恩爲値下斷行
婦人倶樂部浴衣協定値段金貳圓五拾錢のもの
大懸賞付貳千反限り提供
金貳圓也
東京中形　金一圓二十錢
紹中形上等　金二圓二十錢
手拭浴衣地　金八十八錢
實用品名古屋絞り　金一圓より二圓内外
名古屋帶　金四圓内外
◆かや類大見切
七月二十四日より三十一日迄
三井呉服店
電話三八番　七五一番

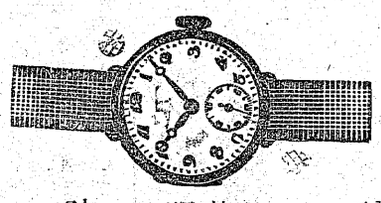
◇特賣！
たひら正宗　福島縣清酒品評會一等賞受領
花春　同優等賞受領
鹽屋最上醤油醸造元
山崎合名會社
平町土橋　電話一〇番二七番
東京上野車坂四三
東京支店
電話下谷五七二二番

通學服
小學
一年生…八十錢　二年生…九十錢
三年生…一圓　四年生…一圓十錢
五年生…一圓二十錢
中學
一年…二圓四十錢　二年…二圓五十錢
三年　二圓卒五錢　四年…二圓七十五錢
五年…二圓八十五錢
◆……早賣り……安賣り……◆
正札堂

ラ寫　イ貞　ト館
田町大通り
電話七四八番

中島寫眞館

梅毒と體毒を
切らず…注射せず…治す
獨逸のベルツ博士の發見
ベルツ丸
惱み苦しむ人々よ…速刻服用して其偉効を味はれよ
藥價　輕症用三圓、重症用五圓、頑固用拾圓
根切德用廿圓、試用二圓、一圓
地方一手特約店　平町五丁目角　山野邊藥局


御求めに成るなら
確實なる商品
平町四丁目
時計　蓄音器　眼鏡
會田時計店
電話二六番
時計の修繕は正確に
お直し致します

◆現代醫藥界の驚異
飲まずに治るコリサ浸透療法
肺、ロクマク、腹膜炎、リウマチス、神經痛治療藥
外用　コリサ
◇論より證據百聞一見に不如
醫學博士…内野先生實驗　醫師…吉松先生發見
定價　金四拾五錢、金九拾錢　特大瓶家用…一圓七十錢　送料　内地十二錢　海外四五錢
平町一丁目
特約店　大平屋藥舗
電話六四二番
◎實感希望者は郵券廿錢封入左記本舗へ申込まれ試用愛す浸透療法の小冊子を郵送す
大阪市北区吉野町一丁目　吉松醫院製劑部

外科一般（入院隨意）
内臓外科專門
花柳病科
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九番

◎内聲コロンビアレコード新荷着
初夏……野外のシーズンが來ました
カヤンプロビクニックに旅行にそして音樂に此の明るい行樂の時季こそ蓄音器の御使用の時であります
皆様にその準備がおありですか？弊店では皆様の御家庭の團樂の爲めに優秀な器械を安く御願致します
此好個の時機をお逃しにならない様に…さあ！今すぐに御註文をお願ひ致します
特に蓄音器の修繕は…安く…良く　早く…
平町三丁目
大谷時計病院
電話一九番

イスとテーブルの御用命は
本箱とツクエ
丸ほん家具店
營業所　平町三丁目　電話五三九番
製造所　4町新田前　電話七二三番

御酒は越後名産
飲むなら銘酒　寶
平町土橋二八
粕取燒酎
味噌醤油
錦屋酒店
山野邊七郎
電話呼六六二番